

ShinMaywa



新明和駐車設備

取扱説明書

S&A safety and amenity
安全・快適が基本です

駐車設備取扱上の注意事項

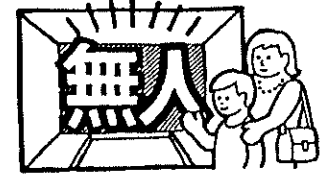
1 対象自動車は乗用車（四輪）

- トラック、二輪車、三輪車などを入庫しますと安全装置が働かず、車や機械が損傷する事故を招きます。



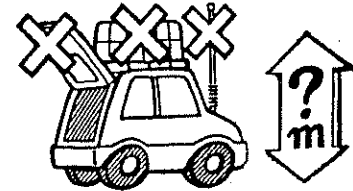
2 まず安全、無人を確認。

- 人がいると、人身事故が起き、大変です。オペレータ（操作者）の管理責任も問われます。
- 車内荷物の出し入れは、入庫前に済ませましょう。



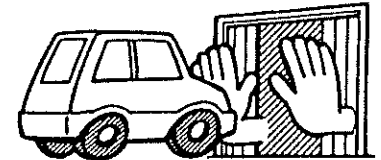
3 高さ制限を厳守。

- トランクドア、リヤドアは閉めてください。ルーフの荷は降ろし、アンテナも下げて下さい。
- 高さ制限を守らないと機械にぶつかり、車や機械が損傷する事故を招きます。



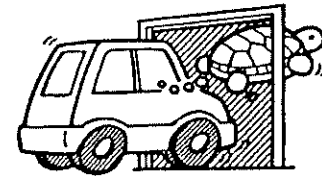
4 完全に開いてから入庫開始。

- 入口扉が完全に開き、機械が止まってから入庫しないと、車や機械が損傷する事故を招きます。



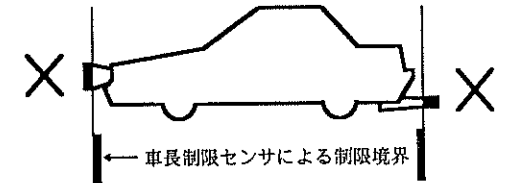
5 進入速度は時速5 km以下で。

- スピードが速すぎると、正しい位置に止まらず、機械にぶつかり、危険です。



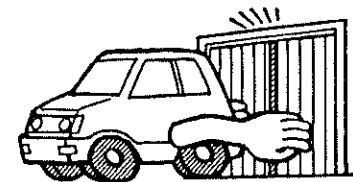
6 フロントおよびリヤにパーツをつけた車の確認。

- 必ず制限内であることを確認下さい。
- バンパよりとび出した突起物には、安全装置が働かず車や機械が損傷する事故を招きます。



7 出庫後は、必ず入口ドアを閉めます。

- 扉を閉めない、人が侵入し人身事故を起こす危険があります。
- 扉を閉めない、次のお客様が「呼出し」ができず迷惑になります。



8 動かないとき、わからないとき、事故・災害の時は・・・

- 管理者の方は取扱説明書内の「7 事故や災害のとき」、「8 故障のとき」をごらんください。それでもわからないときには、SMECの最寄りの営業所にお電話ください。
- テナントの方は、管理者の方にご連絡してください。



- 立体駐車設備は定められた方（運転管理者の方、またはテナントで認定された方）以外には、絶対に操作させないようにしてください。不特定のご利用客の入出庫につきましては、必ず管理者が立会い、監視・誘導してください。

はじめに

ベルシャトウ阿倍野阪南町御納

機種名 …… クロスパーク
 形式 …… SY₂J-52E
 操作方式 …… テンキー（暗証番号方式）
 （フリーロケーション）

このたびは、新明和立体駐車設備をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。

新明和立体駐車設備は、「Safety & Amenity（セイフティ・アンド・アメニティ）＝安全さと快適さ」を基本理念として設計・製作されておりますが、操作方法を誤ると、思わぬトラブルを招く恐れがございます。この設備をいっそう「安全」かつ「快適」にご利用いただくため、オーナー様および運転管理者、ならびにテナントご利用者の皆様におかれましては、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、説明書の記載方法にしたがって安全運転を心がけてくださるようお願いいたします。

この取扱説明書の使い方

初めて設備をお使いになる前には、必ずこの説明書の全文に目をとおしてください。

日常の運転につきましては、くりかえし、この説明書の「2. 運転をはじめる前に」「3. 入庫するとき」「4. 運転をするとき」「5.



とき」「6. 運転を終了するとき」を見てご確認ください。

説明書の中で、左のマークがついた説明はとくに「安全」に関する重要事項をあらわしています。

日常のご利用につきまして、不明の点がありましたら、この説明書の4・5ページ目の「こんなとき・このページを！」を開いて、お知りになりたい事項の記載ページを索引してください。

万一、何らかの異常事態が発生したときは、この説明書「7. 事故や災害のとき」「8. 故障のとき」をご覧になり、応急対処のうえで、弊社立駐保守会社、新明和エンジニアリング株式会社（SMEC）の最寄りの営業所にご連絡ください。

この取扱説明書は、必ず、わかりやすい所に常備してください。

目次

こんなとき・このページを！……………4

1 各部の名称とはたらき 6

出入口パネル部……………6
駐車室内……………7
運転盤……………8
案内灯……………10
安全装置……………12
消火設備……………14
ターンテーブル……………15

2 運転をはじめる前に 16

設備を運転できる人は？……………16
始業点検のしかた……………16
運転開始の準備……………17

3 入庫するとき 18

入庫できない車のチェック……………18
専任管理者によるパレットの呼出し方……………19
会員の暗証によるパレットの呼出し方……………20
入庫前のドライバーの注意……………22
駐車室内でのドライバーの注意……………23
駐車室を出るとき……………27

4 運転をするとき 28

5 出庫するとき 29

出庫操作のしかた（管理者／テナント共通）……………29
ターンテーブルの操作のしかた……………30

6 運転を終了するとき（終業点検） 32

7 事故や災害のとき 33

事故が起きたとき……………33
火災が発生したとき……………34
地震が起きたとき……………35
停電したとき……………35
その他の災害のとき……………35

8 故障のとき 36

動かないとき……………36
その他の異常のとき……………37

9 テナント契約を結ぶとき 38

10 保守契約 39

11 設備の仕様 40

12 本駐車設備の特殊仕様 41

パレットの呼出し予約のしかた……………41
パレットの呼出し予約を取消するとき……………41

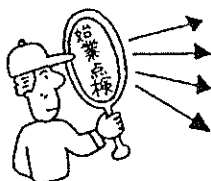
こんなとき このページを！

運転を始める前に

運転できる人はだれ？
できない人はどんな人？
・ 16ページ

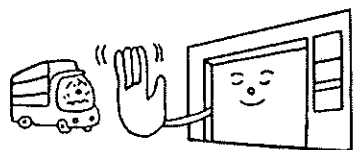


毎日の運転開始のときの
準備のしかたは？
(始業点検のしかた)
・ 16. 17ページ



車を入庫するとき

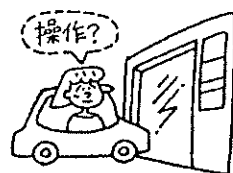
入庫できない車は？
・ 18ページ



管理者が入庫するときの
運転盤の操作のしかたは？
・ 19ページ



テナントが入庫する
ときの運転盤の操作の
しかたは？
・ 20. 21ページ



ドライバーの正しい車の
入れかたは？
・ 22. 23. 24.
25. 26ページ



入庫のとき管理者や
テナントが注意する
ことは？
・ 22. 23. 24.
25. 26. 27ページ

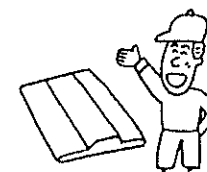


入庫が済んでも設備が
動作しないときは？
・ 36ページ



車を出庫するとき

管理者が出庫するときの
パレットの呼出し方は？
・ 29ページ



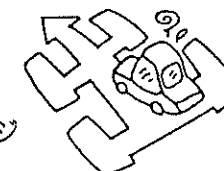
テナントが出庫するときの
パレットの呼出し方は？
・ 29ページ



ターンテーブルの
操作のしかたは？
・ 30. 31ページ



出庫するときに
管理者やテナントが
注意することは？
・ 29. 30. 31ページ



事故や災害のとき

物損事故や人身事故が
起きたときは？
・ 33ページ



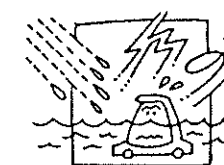
火災が発生したときは？
・ 34ページ



地震が発生したときは？
・ 35ページ



台風、豪雨、浸水など
のときには？
・ 35ページ

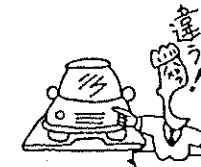


故障が発生したとき

設備が動かなくなった
ときには？
・ 36ページ

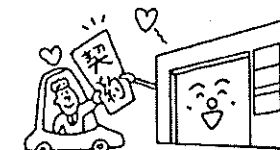


異常音をする、パレットが
呼出せない、
違うパレットがきたなど
のときには？
・ 37ページ



その他

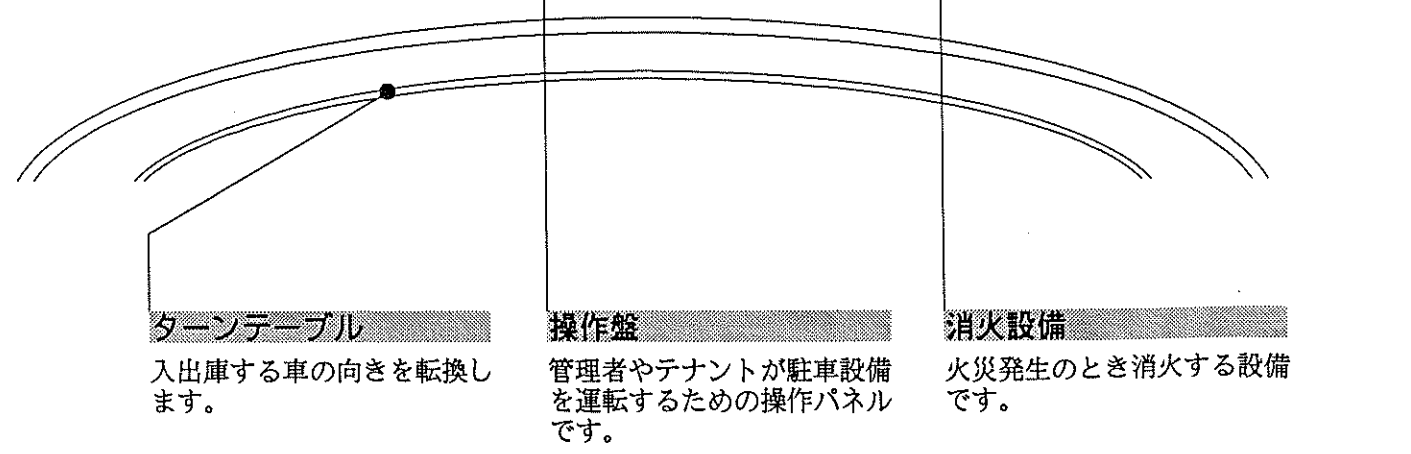
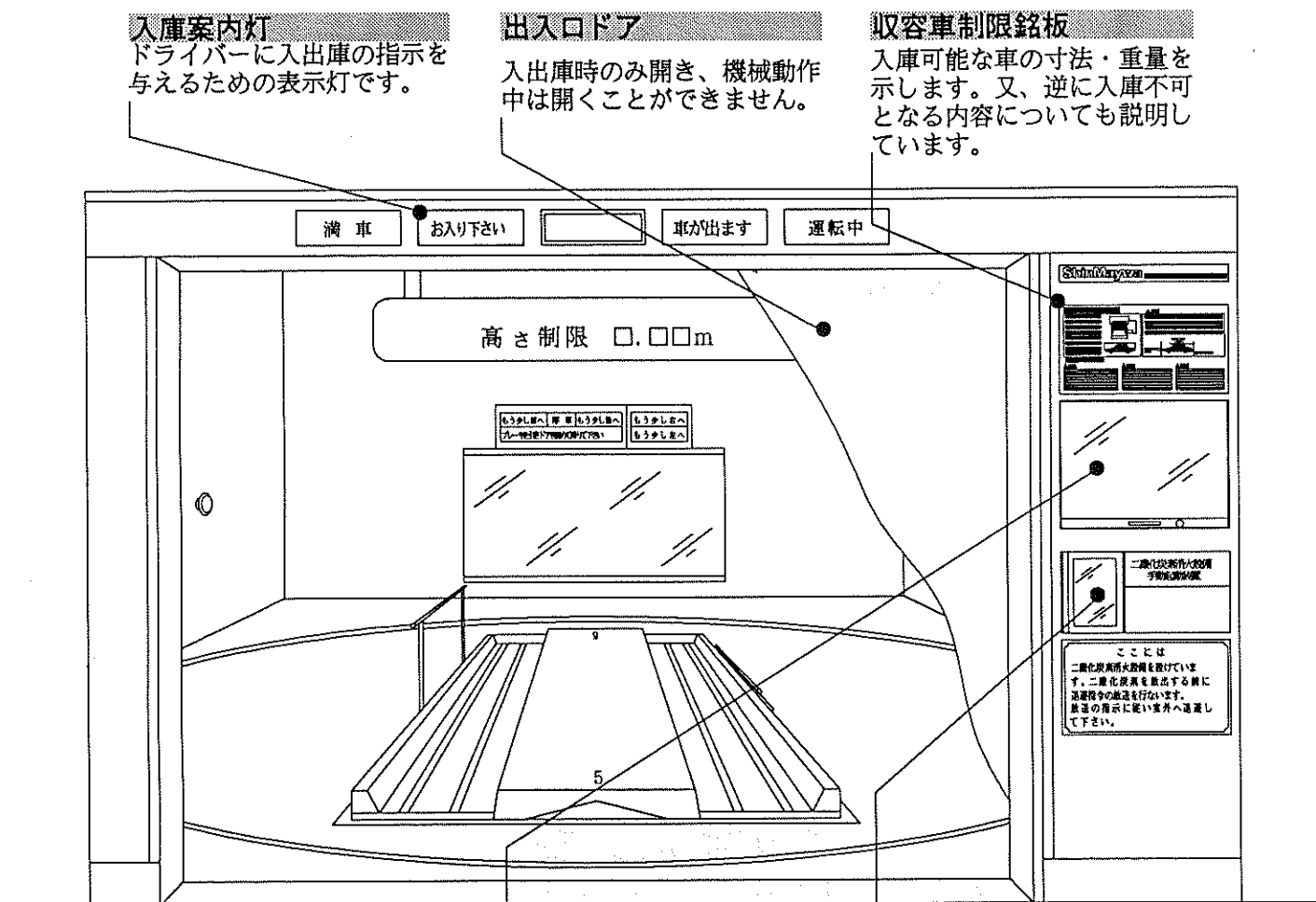
テナントと契約するとき
・ 38. 39ページ



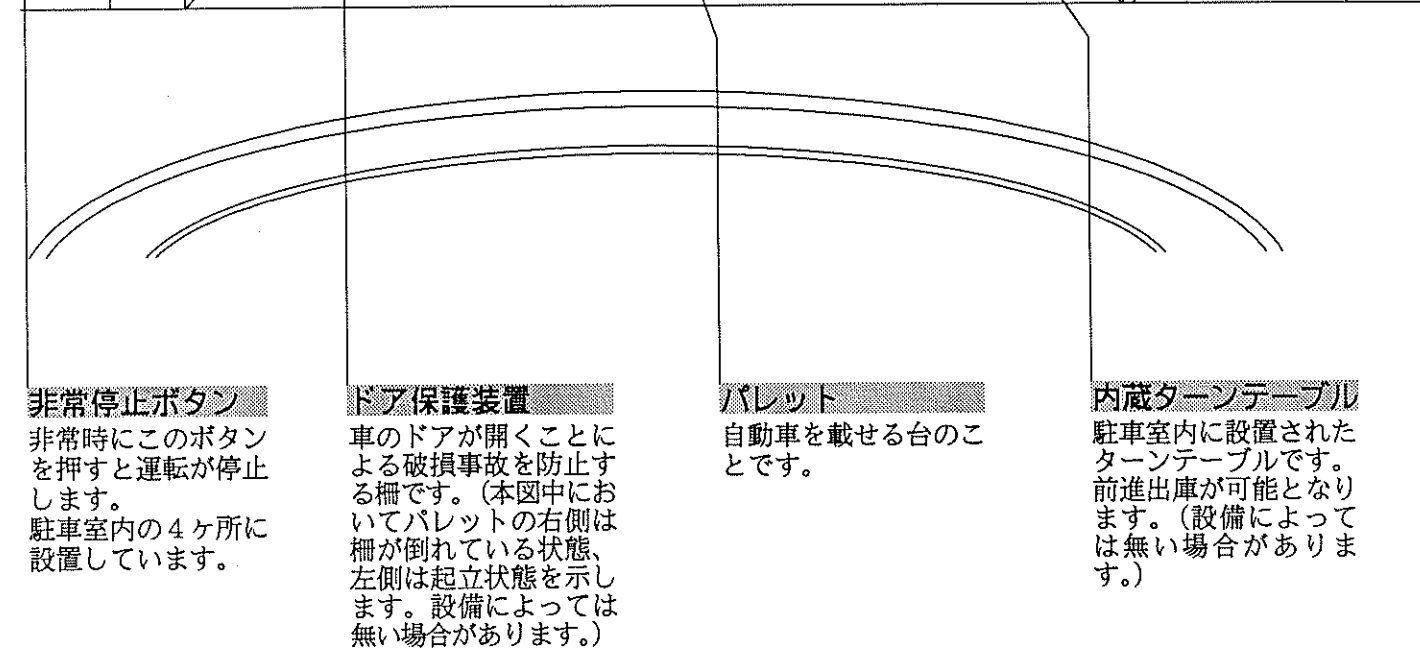
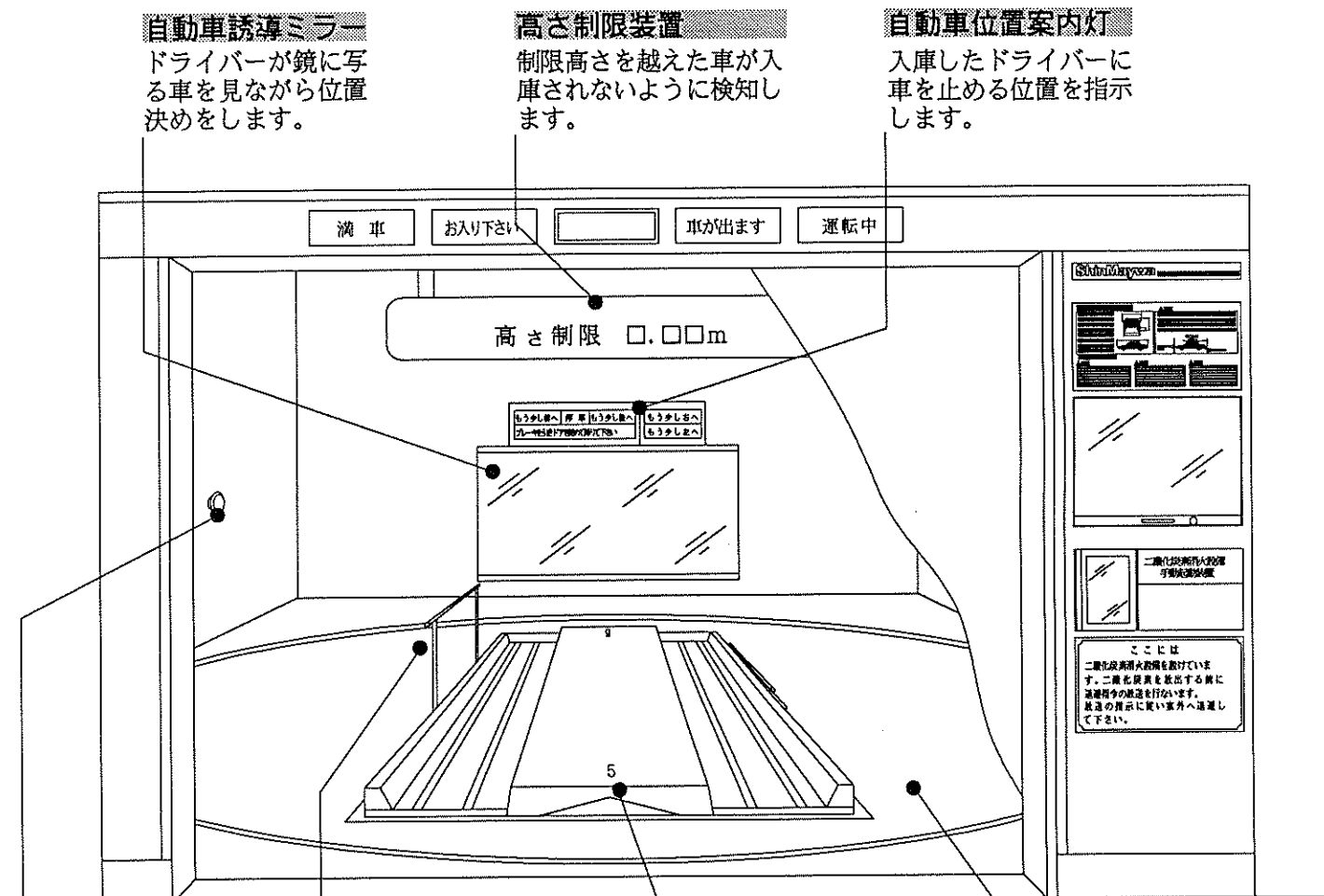
1 各部の名称と はたらき

出入口パネル部

●下図は、端部リフト付タイプの出入口部正面図です。設備によってはこの図と異なる場合があります。



駐車室内



運転盤

実車表示灯
赤ランプが点灯しているとその番号のパレットに駐車されていることを示します。

入口番号・呼出番号表示灯
入口番号と呼出登録番号を表示します。

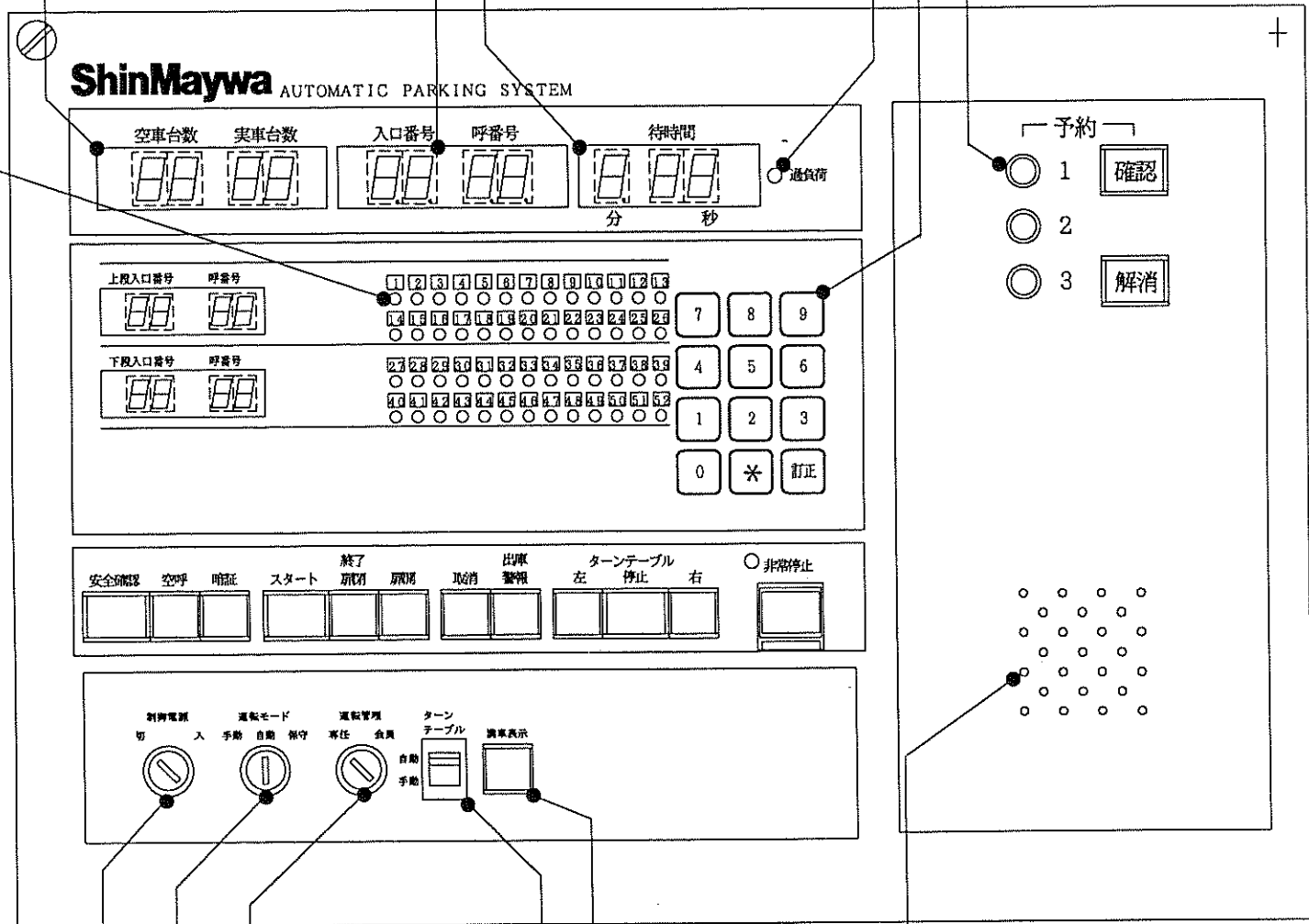
過負荷警告灯
モータの負荷オーバー状態を表示します。

空車実車台数表示灯
空パレットと使用パレット台数を表示します。

待ち時間表示灯
パレットが駐車室に到着するまでの時間を表示します。

テンキースイッチ
パレット番号や暗証番号をこのキーで入力します。

予約ランプ
パレットの呼出し予約があることを表示します。



運転管理スイッチ
運転管理者を選択するためのスイッチです。

満車表示ボタン
満車であることを表示します。

スピーカー
操作案内が流れます。案内に従って操作して下さい。

運転モードスイッチ
運転方式を選択するためのスイッチです。

ターンテーブル自動/手動スイッチ
駐車室前面のターンテーブルの運転モードを選択します。

制御電源スイッチ
装置の運転および休止するときのキー式の電源スイッチです。

運転盤

安全確認ボタン
次の操作の安全を確認するためのボタンです。

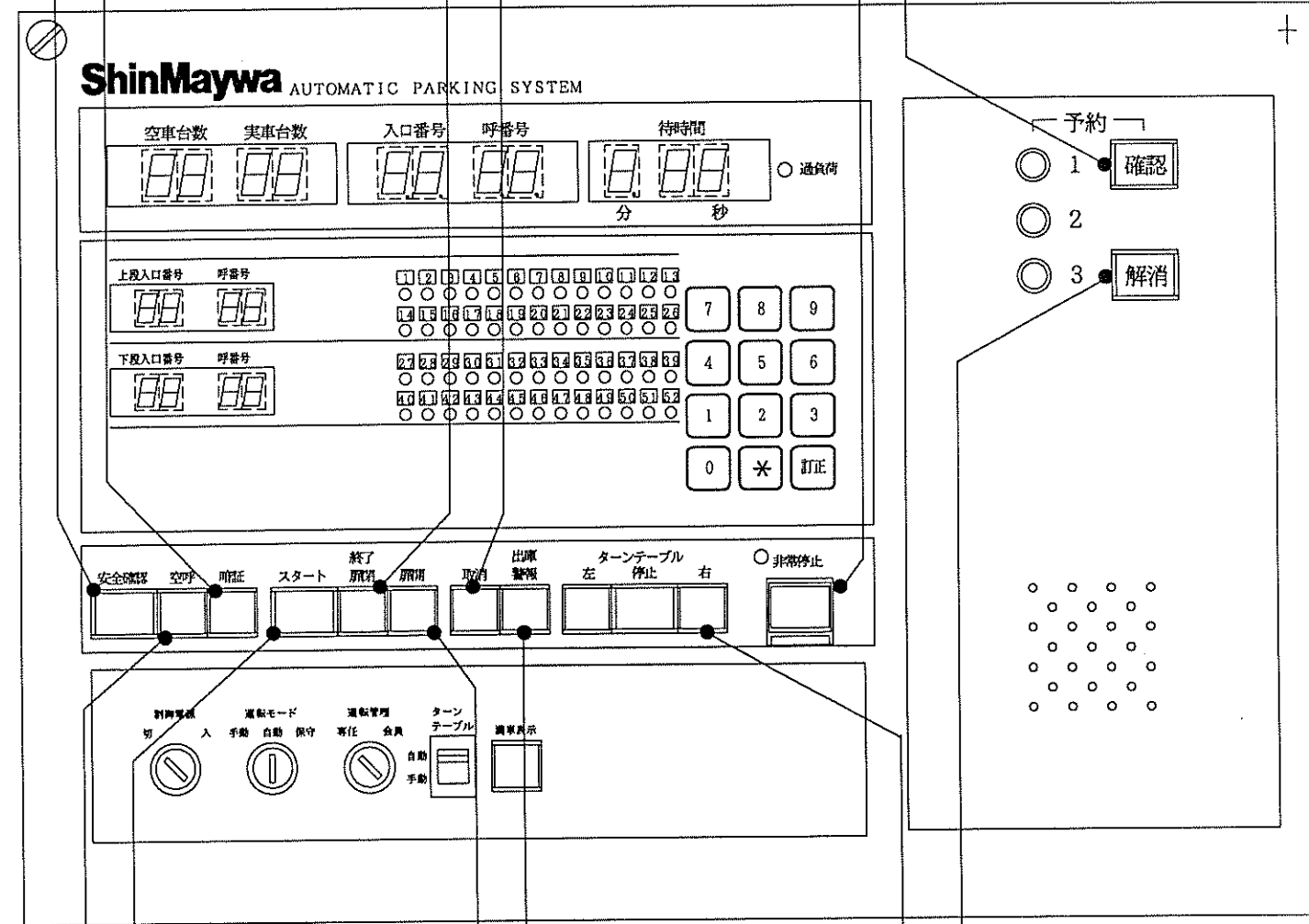
終了/扉閉ボタン
出入口の扉を閉めるためのボタンです。

非常停止ボタン
非常事態の発生時に設備全体をただちに停止させます。

暗証ボタン
テナントが暗証番号を入力する前に押します。

取消ボタン
パレットの呼出しを取消します。

確認ボタン
予約状況を確認するためのボタンです。



スタートボタン
呼出し入力後に機械を起動させます。

出庫警報ボタン
車の出庫時に道路に面した出庫警報灯を点灯させます。

解消ボタン
パレットの呼出し予約を取消します。

空呼びボタン
自動的に空いたパレットを呼出します。

扉閉ボタン
出入口の扉を開くためのボタンです。

ターンテーブル左/停止/右ボタン
駐車室前面のターンテーブルを旋回・停止させるボタン類です。

案内灯

入庫案内灯

入庫しようとする車のドライバーに入出庫情報を表示します。

満車

お入り下さい

車が出ます

運転中

1 「満車」

満車であることを赤いランプで表示します。駐車設備を利用できません。

2 「お入り下さい」

ドアが開いているときに、緑のランプで表示し、入庫できることを示します。入庫が終わるとランプが消えます。

3 「車が出ます」

呼出したパレットが到着して、出庫できることを赤いランプで表示します。ドライバーは室内に入り、出庫することができます。

4 「運転中」

機械が作動中であることを赤いランプで表示します。点灯中は入出庫できません。

自動車位置案内灯

乗入れた車のドライバーに停車位置を指示します。

標準仕様

もう少し前へ 停車 もう少し後へ
ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい

寒冷地仕様

もう少し前へ 停車 もう少し後へ
ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい

自動車位置案内灯 つづき

進入した車に対して、もう少し前進するようブザーとともに指示します。

もう少し前へ

車が正規の停車位置に達したことを表示します。

まず「停車」の文字が点灯し、その2秒後に「ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい」または、「ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい」の文字が点灯します。

標準仕様

停車
ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい

寒冷地仕様

停車
ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい

車が前へ進み過ぎたときに、ブザーとともに点灯して、後退するよう指示します。ドライバーは「停車」または「ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい」または、「ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい」の表示が出るまで、車を後退させます。

また、高さ制限以上の車が入庫しようとしたときには、「ピイッ」というブザーとともに点灯し、後退するよう指示します。この場合、車を出庫させてください。

もう少し後へ

左右案内灯（ドアミラー検知光電センサ設置仕様のみ）

車がパレットの左に寄りすぎたときに、もう少し右方向へ移動するようにブザーとともに指示します。車を少し後退させて再び前進しながら右側へ寄せて下さい。

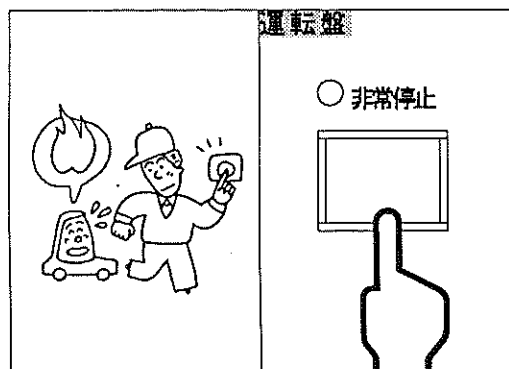
もう少し右へ

車がパレットの右に寄りすぎたときに、もう少し左方向へ移動するようにブザーとともに指示します。車を少し後退させて再び前進しながら左側へ寄せて下さい。

もう少し左へ

安全装置

新明和立体駐車設備には、「Safety & Amenity」の製品コンセプトにもとづき、設備とご利用客の安全を守る配慮がなされていますが、「取扱上の注意事項」をごらんになり、正しい使い方を行ってください。



非常停止ボタン

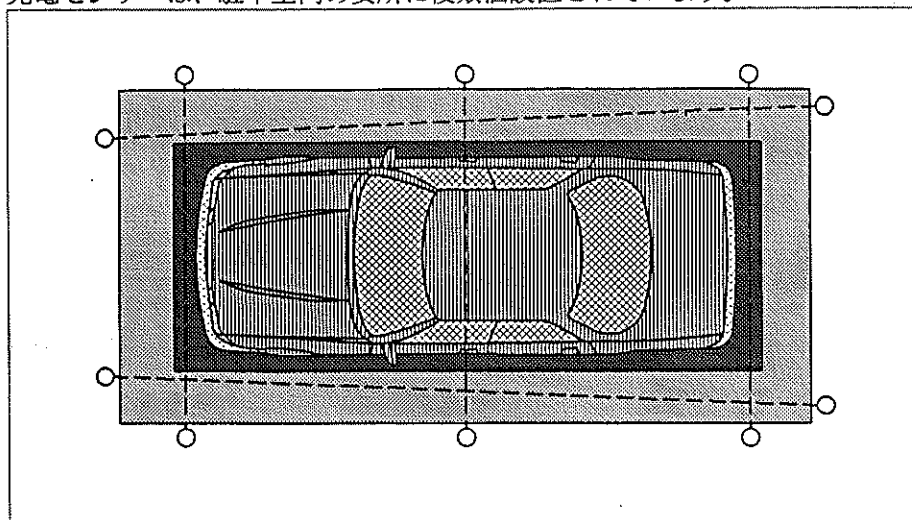
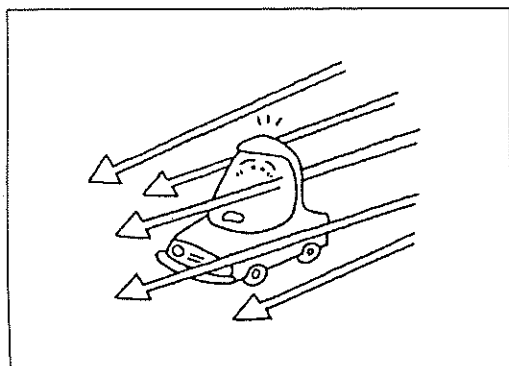
非常事態のときには、運転盤と駐車室内の双方についている「非常停止ボタン」を押すことにより、すべての機械の動作は直ちに停止します。但し、駐車室前面に設置されているターンテーブルは停止しません。ターンテーブルを停止させる場合はターンテーブル用の停止ボタンを押してください。

復帰させる場合は、駐車室内に人がいないことを確認後、運転盤の非常停止ボタンをもう一度押します。

光電センサー

設備の運転中に、駐車室内で人や車、または何らかの障害物が光電センサーの光を遮ると、自動的に運転が停止します。

光電センサーは、駐車室内の要所に複数個設置されています。

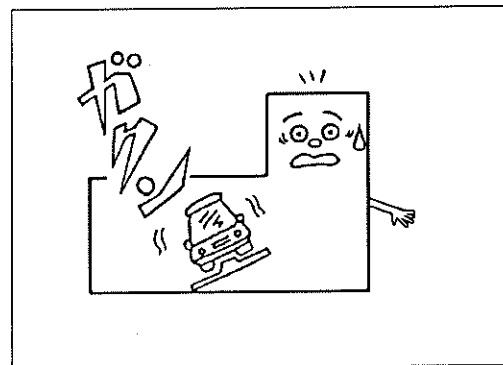


--- 光電ビーム
○ 光電センサー

自動非常停止システム

次の場合に、自動的に運転が停止します。

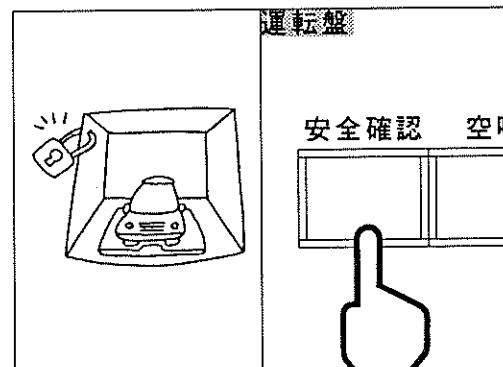
- 運転中に光電センサーが遮られたとき
- 駆動用のモーターが過負荷になったとき
- 非常口を開けたとき
- 駆動装置部の非常スイッチを押したとき
- 装置がオーバーランしたとき（ファイナルスイッチを切ったとき）
- 火災を感知したとき



自動非常停止の場合の復帰は、必ずSMECの最寄りの営業所にご連絡し、指示に従ってください。

運転ロック装置

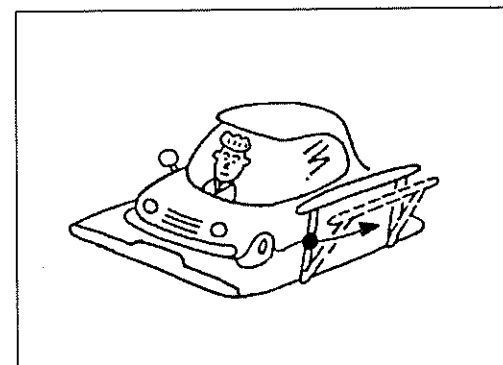
人または車が駐車室内に入ると、自動的に運転ができなくなります。ロックを解除して運転を開始するには、駐車室内に人がいないことを確認した後、運転盤の「安全確認ボタン」を押します。



自動ドア保護装置

機械の運転中にもし車のドアが開くと、車も駐車設備も破損します。これを防止するために、各パレットに防止柵を設けてあり、車の入出庫時には自動的に防止柵は倒れます。

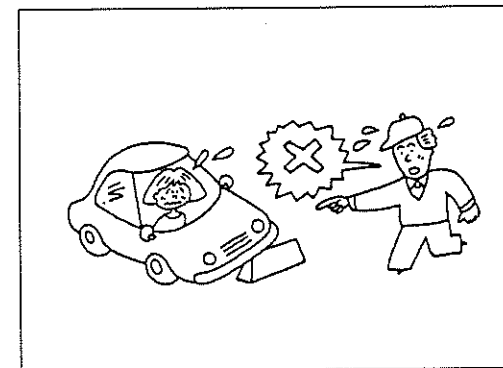
機械を運転するときは、防止柵は自動的に立上ります。



車止め

すべてのパレットには、車止めがついています。車止めはあくまでも停車位置の目安で、正しくは自動車位置案内灯の「停車」「ブレーキを引きドアを閉めて降りてください」または、「停車」「ギヤーをバック又はPに入れて降りてください」の指示に従って停車します。

車止めを越えて止めたり、車止めに乗上げて止めたりしないでください。

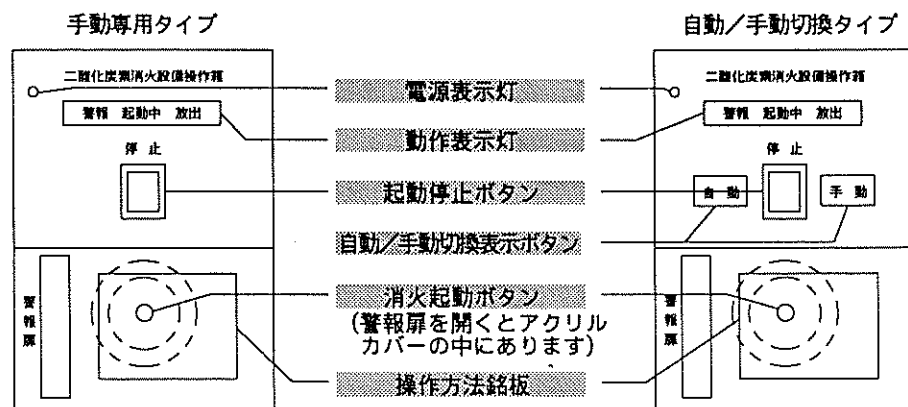


消火設備

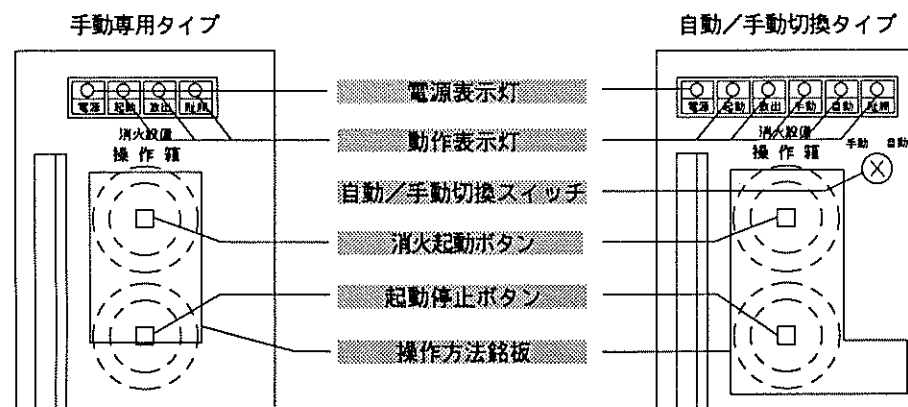
新明和立体駐車設備には、運転盤の下部に下図のような「二酸化炭素消火操作箱」が組み込まれています。本消火設備は、消火剤として二酸化炭素(CO₂)ガスを使用しています。

●設備によっては下記メーカー以外の消火設備が組み込まれている場合がありますので、詳細は「消火設備説明書」をごらんください。

●日昭産業(株)製



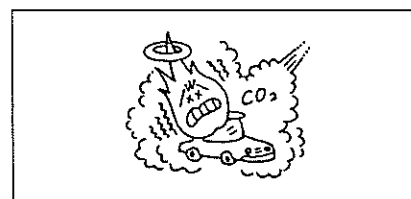
●株式会社メック製



消火モードの選択

自動/手動切換タイプの場合

管理者の方が常駐している場合は、上図の「自動/手動切換表示ボタン」を押して「手動」とし、夜間などの無人になるときのみ、「自動」にしてください。



消火方法

火災が発生し、消火設備が起動すると、立体駐車設備全体に二酸化炭素ガスが放出されて、消火が行われます。

●自動消火の場合と手動消火の場合の操作方法について、詳細は「消火設備説明書」をごらんください。



消火設備の点検

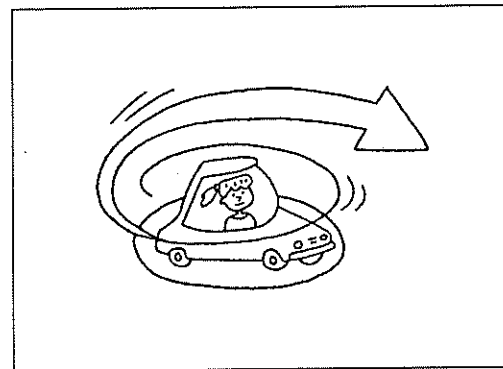
消火設備がいざというとき効果的に作動するよう、ふだんから定期点検をしておく必要があります。

●オーナー様と消火設備メーカーとの間で、定期保守契約を締結されるようおすすめします。

ターンテーブル

ターンテーブルの役割

ターンテーブルは、入庫する車や出庫した車を載せて回転し、走行できるように方向転換するための装置です。通常、駐車室前面に設置されます。ターンテーブルのコントロールは、運転盤で押ボタンにより簡単にでき、自動運転と手動運転があります。

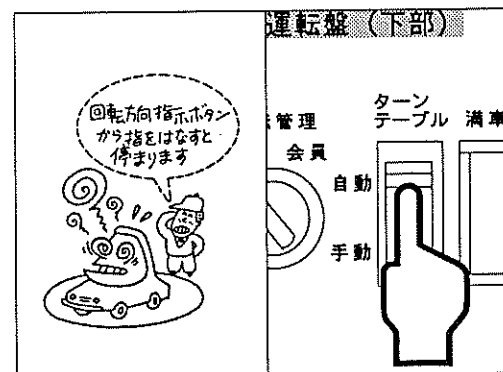


自動運転 設定された角度だけ回転して、自動的に停止します。

手動運転 任意の位置に停止させられます。

ターンテーブル切換スイッチ

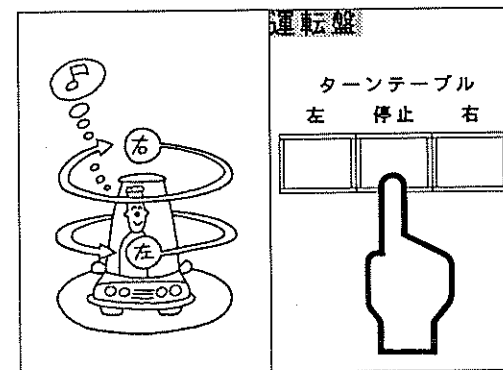
ターンテーブルの自動運転と手動運転を選択するためのスイッチです。自動の場合は設定された角度だけ回転して自動停止、手動の場合は「ターンテーブル回転指示ボタン」の「右」または「左」のボタンを押している間だけ回転して、離すと停止します。



回転方向指示ボタン

「右」または「左」のボタンにより、ターンテーブルの回転方向を設定できます。また2つのボタンの間には「停止」のボタンがあります。

「停止」のボタンは、自動運転の場合に回転の途中で押すと、設定された角度まで回転していなくても即座に停止します(手動運転の場合は、「右」または「左」のボタンから指を離すと停止します)。



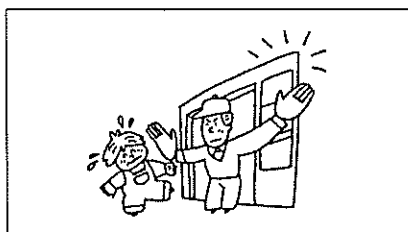
2 運転をはじめる前に

この項では、毎日の設備運転を開始する前に管理者の方にしていただきたいことをご説明します。

設備を運転できる人は？



立体駐車設備は、定められた方（運転管理者の方、またはテナントで認定された方）以外には、絶対に操作させないようにしてください。不特定のご利用客の入出庫につきましては、必ず管理者が立会い、監視・誘導してください。また設備の運転中は、いつでも非常停止ができるよう、運転盤から離れないでください。

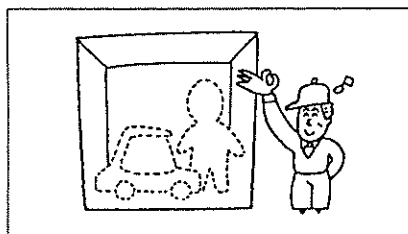


始業点検のしかた



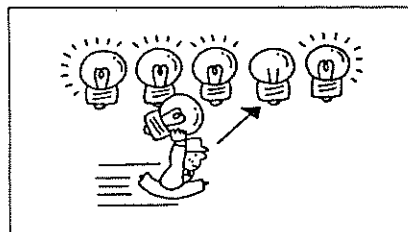
駐車室内の安全点検

駐車室内に人がいないことと、パレットやデッキ上に荷物や障害物がないことを確認してください。



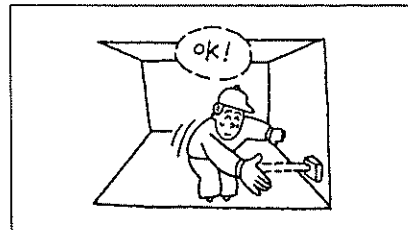
ランプ切れの点検

案内灯（入庫案内灯、自動車位置案内灯）、照明灯、警告灯（その他運転盤のランプ類）が切れていないかどうかチェックしてください。



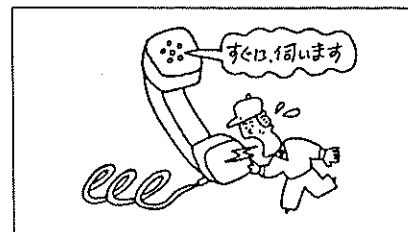
光電センサーの点検

駐車室内の各所についている光電センサーの動作チェックをしてください。



試運転

毎日のご利用開始前に試運転をし、「きしみ音」などの異常があれば、運転を開始せずに、すぐSMECの最寄りの営業所にご連絡ください。

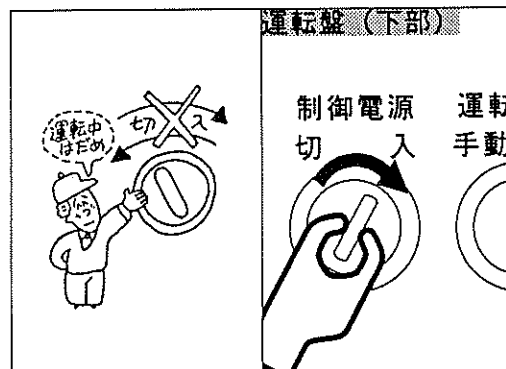


運転開始の準備

1 電源を入れる

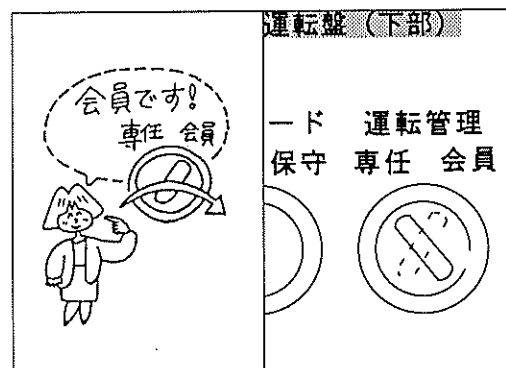
まず、運転盤の下部にある「制御電源スイッチ」を「入」にして、キーを抜いてください。

●運転中は「入」「切」の操作はしないでください。



2 運転者を選ぶ（テンキー暗証番号方式およびカード方式のみ）

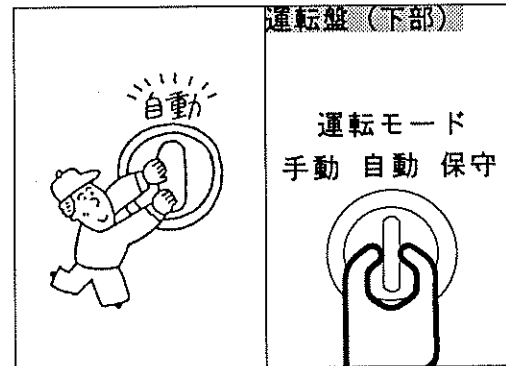
運転盤の下部にある「運転管理スイッチ」を、テナント等の複数ご利用者が運転する場合は「会員」、特定の管理者の方が運転する場合は「専任」にします。



3 運転モード設定

運転盤の下部にある「運転モードスイッチ」を「自動」にしてください。

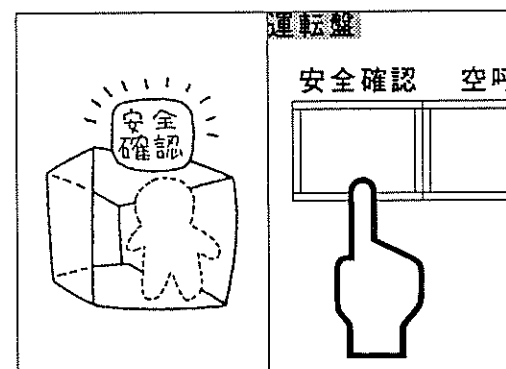
●「運転モードスイッチ」の「手動」は、保守作業による手動運転のとき、また「保守」は各種タイマー等の設定のときに使用します。（保守作業に使用する運転モードスイッチは、必ず保守点検員の指示による以外は使用しないでください）



4 安全の確認



モードを「自動」にしたとき、運転盤の「安全確認ボタン」が点滅した場合は、運転できません。必ず駐車室内に人がいないことを確認した後に、「安全確認ボタン」を押してください。ランプが消えて運転できるようになります。



3 入庫するとき

この項では、車を入庫するときの、管理者の方やテナントの方の操作のしかた、およびドライバーの入庫時の注意事項についてご説明します。

入庫できない車のチェック

諸元のチェック

入庫できる車の諸元は、「11 設備の仕様」に記載しています。また、運転盤付近の銘板にも諸元を記載しています。入庫できる車かどうかを必ず確認したうえで入庫するようにしてください。

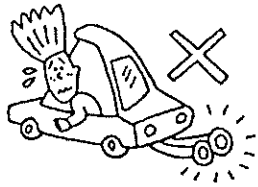
入庫できる車の諸元を超えた車やトラックおよび二輪車・三輪車を入庫すると車や機械の損傷をまねきますので入庫しないでください。

外観によるチェック

諸元の範囲内であってもパレットからはみ出す車や下記に該当する車は入庫しないでください。入庫するときに支障がなくても機械運転中に車や機械の損傷をまねきます。

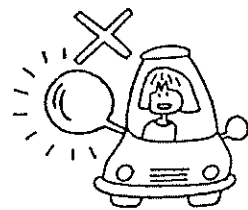
最低地上高の低い車や改造車

- 改造、積載などによる最低地上高の低い車
- 後部にマフラーが突き出た車
- 前部にフォグランプなどが出た車



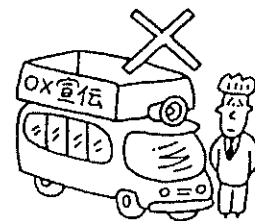
大型のミラー

タイヤ側面から170mm以上ミラーが張り出していると装置に当たる恐れがあります



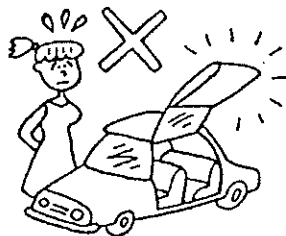
タクシーなどの防犯灯など

- タクシーの防犯灯
- 宣伝カーの屋上看板など



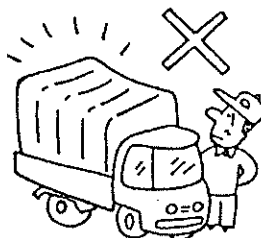
上開きのドア

ドアが上方に開くタイプの車



枠を組んだ車

荷台に枠を組んだり、そこに幌をかけている車



車検証の確認

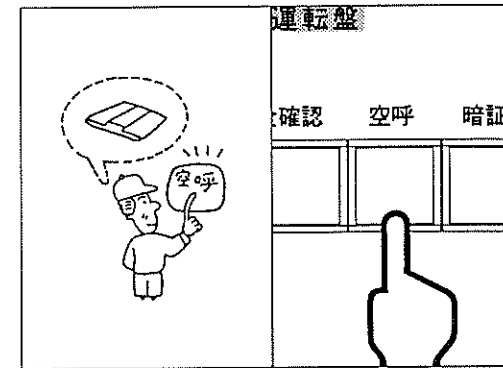
入庫車が寸法制限に該当しそうな車は、車検証で確認してください



専任管理者による パレットの呼出し方

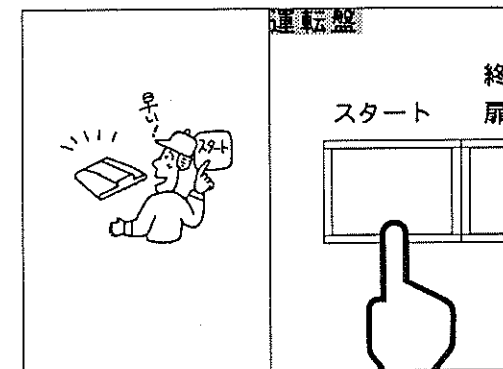
1 「空呼」を押す

パレットを呼出すには、まず運転盤の「空呼ボタン」を押します。このボタンは、呼出し時間が最短となる空パレットを自動的に選んで呼んでくれます。



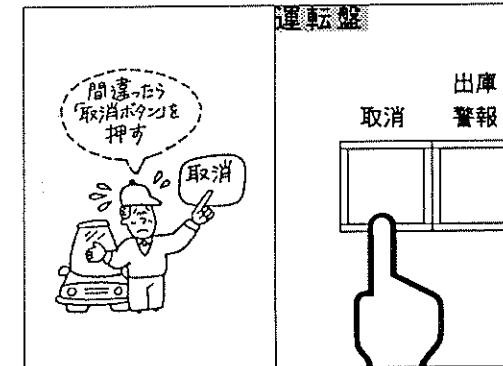
2 「スタート」を押す

次に「スタートボタン」を押してください。機械が作動開始し最短時間で空パレットが呼出されドアが開きます。



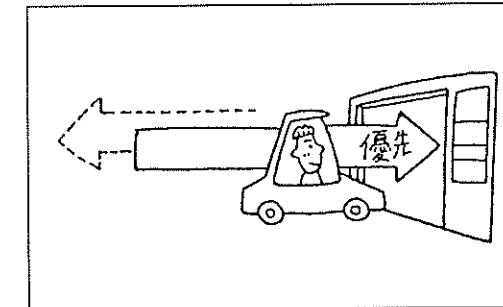
3 取消するとき

間違って「スタートボタン」を押したときは、「取消ボタン」を、押してください。



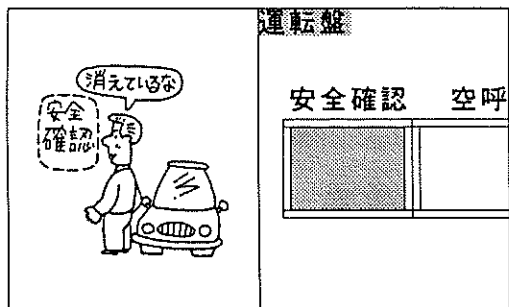
4 入庫優先

出庫と入庫が同時にあるときは、出庫パレットよりも先に入庫パレットを呼出したほうが、出入口扉の前面やターンテーブルが混雑しません。



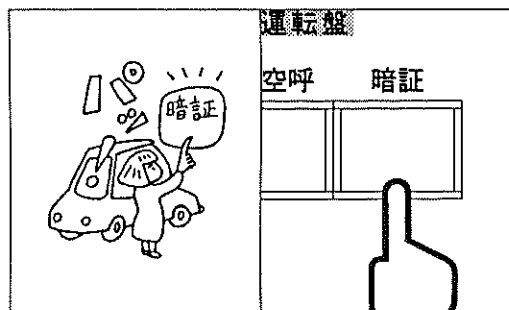
会員の暗証による パレットの呼出し方

テナント（会員）が暗証番号によって呼出す方式には、「フリーロケーション方式」と「固定方式」があります。「フリーロケーション方式」では、暗証番号を入力すると特定のパレットでなく空いているパレットが呼出されます。「固定方式」では、暗証番号に対応して定められたパレットが呼出されます。



1 安全の確認

運転盤の「安全確認ボタン」が消灯していることを確認してください。ボタンのランプが点滅あるいは点灯している場合は、ボタンを押して消灯したことを確認してください。もし、ランプが消灯しない場合は、設備に異常がありますので以降の操作を中止し、管理者の方へご連絡ください。



2 「暗証ボタン」を押す

運転盤の「暗証」のボタンを押します。ランプが点灯し、暗証番号の入力が可能となります。

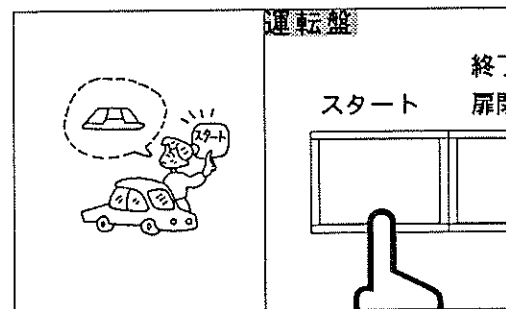
暗証番号が「1234」の例

7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 * 訂正	入口番号 呼番号 0.0. 0.1.
7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 * 訂正	入口番号 呼番号 0.0. 1.2.
7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 * 訂正	入口番号 呼番号 0.1. 2.3.
7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 * 訂正	入口番号 呼番号 1.2. 3.4.

3 暗証番号を押す

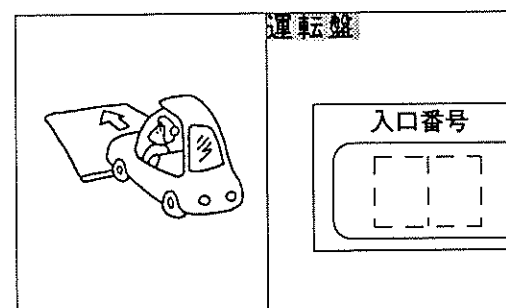
続いて暗証番号（4ケタ）を運転盤のテンキーで入力してください。テンキーを1つずつ押していくと、運転盤の「入口番号」と「呼番号」のデジタル表示部（各2ケタずつ）に、左図のように順次数字が出てきますから、誤りがないか確認してください。

●数字の右下のポイントの点灯は、入力中であることを示しています



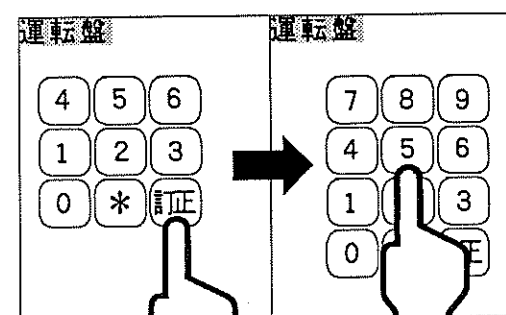
4 「スタート」を押す

暗証番号を入力し確認したら、運転盤の「スタートボタン」を押してください。フリーロケーション方式では、最も近くにいる空パレットが呼出されます。固定方式では、暗証番号に対応して定められたパレットが呼出されます。
●会員操作の場合は、「空呼ボタン」を押す必要はありません。



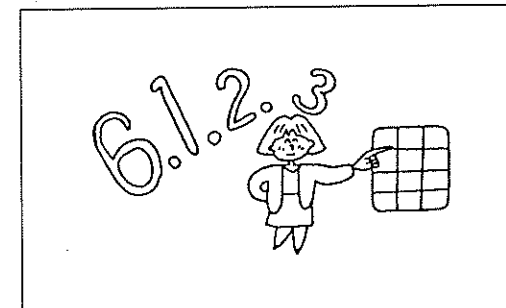
5 パレット到着

「スタート」を押すと、起動ブザーが約4秒鳴った後、機械の運転が始まります。このとき「入口番号」のデジタル表示の番号が順次変化し、呼ばれたパレットが出入口に近づいてくることがわかります。そしてパレットが到着するとドアが自動的に開きます。



6 暗証番号の訂正

「スタートボタン」を押す前の訂正
暗証番号を押し間違えたときは、「訂正ボタン」を押して正しい番号を入力するか、または続けて正規の番号をテンキーから入力すれば訂正できます。



●ただし、3ケタの間違い、例えば「1. 2. 3」と入力すべきところを、「4. 5. 6」と押ししまい、続けてテンキーから入力訂正する場合は、「1. 2. 3」と押すと、表示は「6. 1. 2. 3」になってしまいます。必ず、「0. 1. 2. 3」と押してください。



「スタートボタン」を押した後の訂正

正規の暗証番号以外の番号で「スタートボタン」を押した場合は、入口番号の表示は現在出入口にいるパレットの番号となり、ブザーが鳴って、ドアは開きません。この場合はもう一度、最初から操作をやり直してください。
●5回以上連続して正規の番号登録がされないときには、その番号登録を停止するとともに、ブザーが鳴り、警報を出します。これを復帰するには、「制御電源スイッチ」を一度「切」にした後、「入」にしてください

入庫前のドライバーの注意



同乗者の扱い

ドライバー以外は、車が入庫する前に降ろし、下車したあと、ドアは確実に閉めてください。

- ドアが確実に閉まっていないと、駐車設備の運転中にドアが開き、ドアおよび駐車設備を破損し、事故につながります。

荷物の積み降ろし

荷物の積み降ろしも、車が入庫する前にすませてください。

- 駐車室内での荷物の積み降ろしの作業は絶対に行わないでください。駐車設備運転中に、置き忘れた荷物が落下し、車および駐車設備を破損し、事故につながります。

アンテナの扱い

自動車のアンテナは、入庫する前に降ろしてください。

- アンテナを立てたまま入庫しますと、アンテナが駐車設備に当たり、アンテナが破損する恐れがあります。

必ずタバコを消す

駐車室内は禁煙です。入庫する前に、タバコの火は必ず消してください。

- 駐車室内では車に、多量のガソリンがあり、火気は大変危険です。

駐車室内への進入

出入口の上の入庫案内灯に「お入り下さい」のランプが点灯してから、車を前進でゆっくりと（制限速度5キロ以下厳守）入庫してください。

- あわてて入庫しようとしますと、正しい位置に車が止まらず、車および駐車設備の破損、人身事故につながります。

駐車室内でのドライバーの注意



パレットでの走行

車はパレットのタイヤ溝に合わせて進入し、パレット上での急発進や急停止はしないでください。

また、パレット溝の立ち面でタイヤなどを傷つけないよう、注意してください。

- パレット上での急発進や急停車は、車および駐車設備を破損し、事故につながります。

停車のしかた

パレットの上では、前面のミラーを見ながら運転し、同時に「自動車位置案内灯」の表示をよく見て、「停車」「ブレーキを引きドアを閉めて降りてください」または、「停車」「ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい」が点灯する位置まで、ゆっくり車を進めてください。

標準仕様

停車

ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい

寒冷地仕様

停車

ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい

前後調整のしかた

車が停車位置に達しない間は、案内灯に「もう少し前へ」の表示が出ます。その場合「停車」の表示が出るまでゆっくり前進してください。

標準仕様

もう少し前へ



停車

ブレーキを引きドアを開けて降りて下さい

寒冷地仕様

もう少し前へ



停車

ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい

標準仕様

もう少し後へ



停車

ブレーキを引きドアを開けて降りて下さい

寒冷地仕様

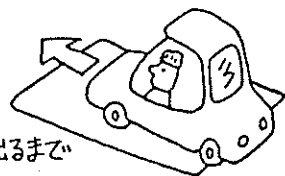
もう少し後へ



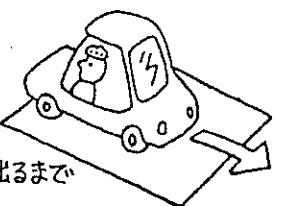
停車

ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい

「停車」の表示が出るまで



「停車」の表示が出るまで



また、車が前へ進み過ぎたときは、案内灯に「もう少し後へ」の表示が出ます。その場合「停車」の表示が出るまで、ゆっくり車を後退させてください。

左右調整のしかた

ドアミラー検知用光電センサ設置仕様の場合のみ

車がパレットの左右どちらかに片寄りすぎて入庫したときは案内灯に「もう少し右へ」あるいは「もう少し左へ」の表示が出ます。車を少し後退させて再び前進しながら案内灯で指示する側へ寄せてください。

車が右側へ寄りすぎたとき

もう少し左へ

車が左側へ寄りすぎたとき

もう少し右へ

高さ制限以上の車が入庫しようとしたとき



高さ制限以上の車が入庫しようとしたときは、案内灯に「もう少し後へ」が「ピーッ」というブザーとともに点灯して、後退するよう指示します。この場合、車を出庫させてください。

もう少し後へ

フロントおよびリヤにパーツをつけた車の場合



車長制限は光電センサーで行っていますが、バンパーにゴム等のガードを取り付けたり、フォグランプやハイルーフ車等のスペアタイヤ、リヤアンダーミラーが前後に飛び出ている場合など、検出できず車長制限を越えて「停車」の表示が出ることがあります。このような車を入庫させるときは、必ず車長制限内であることを確認してください。

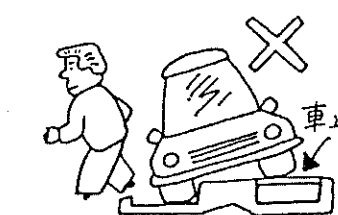
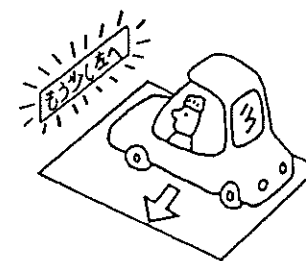
車止めについて

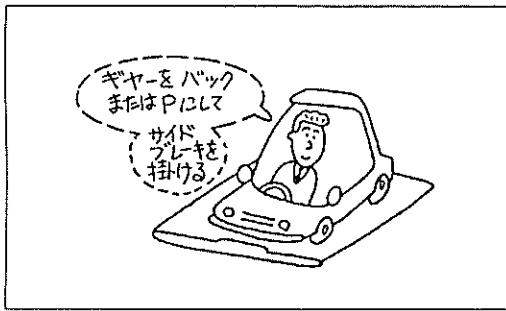


パレットには車止めがついていますが、これは停車位置の目安にすぎません。正しくは、案内灯の「停車」「ブレーキを引きドアを開けて降りてください」または、「停車」「ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい」の表示に従ってください。

●車止めにタイヤを乗上げたまま駐車しないでください。

車のバランスが不安定になり、駐車設備運転中に、車および駐車設備を破損し、事故につながります。

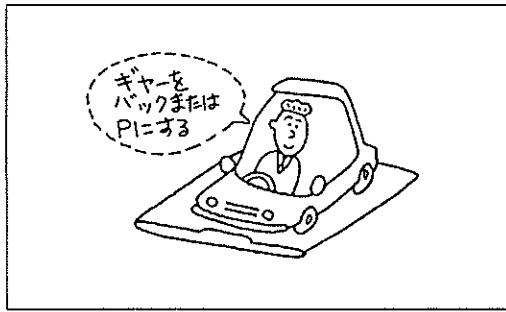
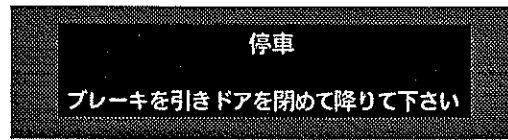




ブレーキを引く

標準仕様の場合

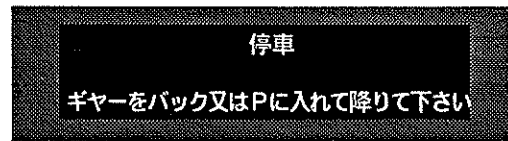
案内灯の表示にも「ブレーキを引き・・・」と出ますが、必ずサイドブレーキをしっかり掛けてください。またギヤは「バック」にしておいてください。(オートマチック車の場合は必ず「P」にしておいてください。)



ギヤを「バック」または「P」に入れる

寒冷地仕様の場合

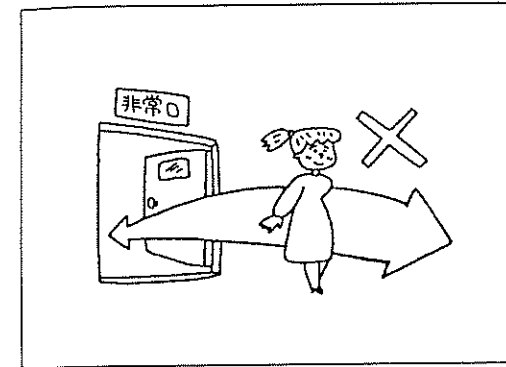
寒冷地仕様の場合は、サイドブレーキを掛けず、ギヤを「バック」にしておいてください。(オートマチック車の場合は必ず「P」にしておいてください。)



ドアは必ず閉める

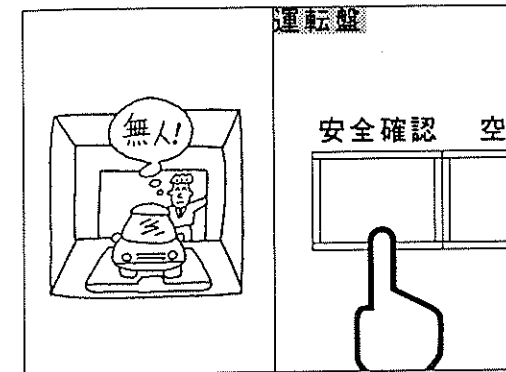
車から降りるときは、車のすべてのドア [前後ドア、リヤドア、トランク] を確実に閉めてください。閉め忘れますと運転中にドアが開き、機械と干渉し、車が破損したり大事故を起こしたりする危険があります。
●特にリヤドア、トランクについては、ドア保護装置を装備した駐車場でも、現在のドア保護装置では、半ドアまたはドア開状態の検出ができませんのでご注意ください。

駐車室を出るとき



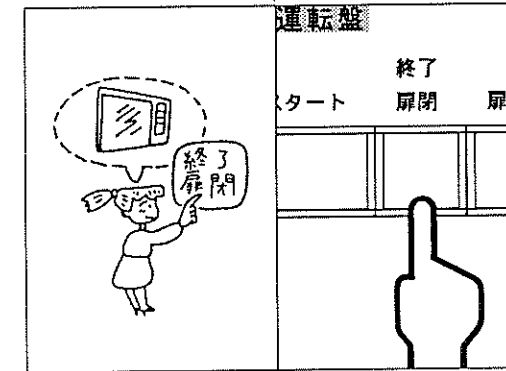
駐車室の出口

駐車室内での歩行は足元、頭上に十分注意してください。ドライバーが駐車室に出入りするとき、非常口は絶対に使用しないでください。また、光電センサーにも触れないでください。どちらの場合も安全装置が働いて、設備の運転ができなくなります。



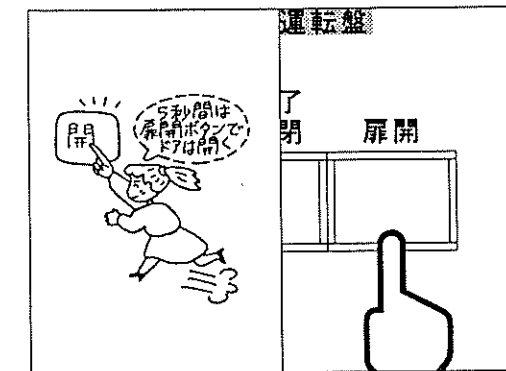
室内の安全確認

人が駐車室内・車内にいないことを、また周囲の安全をよく確かめてから、運転盤の「安全確認ボタン」を押してください。



駐車室の扉閉め

会員の暗証番号による呼出しの場合は、必ず運転盤の「終了/扉閉ボタン」を押して、ドアを閉めてください。ドアを開けたままにしておくとブザーが鳴り、警報を出します。警報を止めるにはドアを「閉」にしなければなりません。

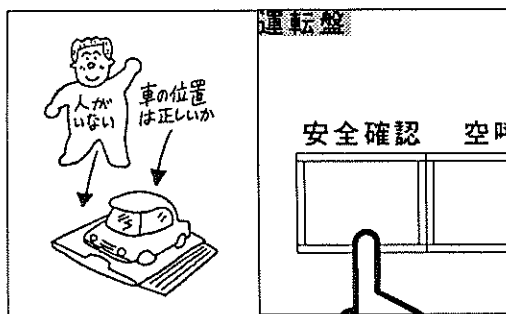


扉閉の訂正

テナント(会員)操作の場合
駐車室のドアを閉めた後、5秒間は運転盤の「扉閉ボタン」でドアを開くことができますが、5秒経過後は開くことはできません(この場合は、もう一度暗証番号の登録からはじめてください)。

4 運転をするとき

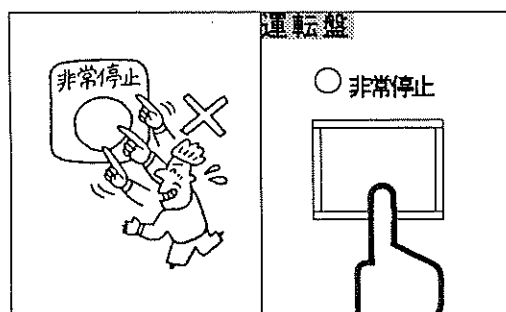
この項では、入庫・出庫を問わず、設備運転中の注意事項についてご説明します。



安全確認の徹底

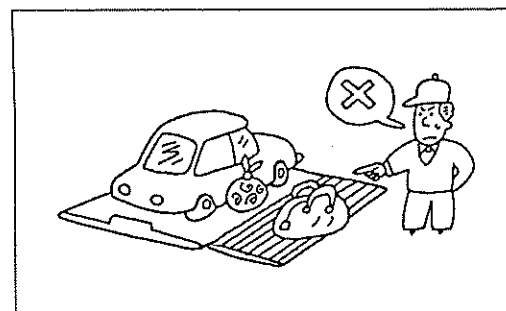
入庫、出庫を問わず、運転操作につきましては、人が駐車室内・車内にいないことを、また周囲の安全をよく確かめたうえで、「安全確認ボタン」を押すことを励行してください。

- このボタンを押さないとドアが閉まらず、あとの操作ができません。
- 「安全確認ボタン」を押して運転できない場合、室内に人がいないか、車の位置は正しいかを再確認してください。



非常停止ボタン

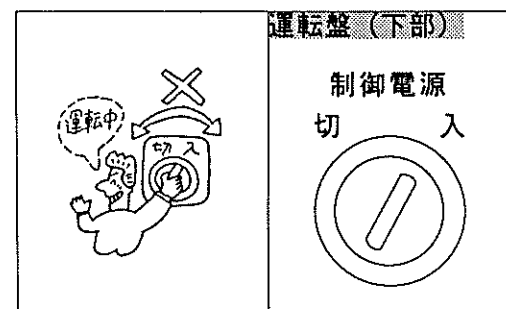
「非常停止ボタン」は、みだりに押さないでください。ただし、運転中に機械のトラブルが発生した場合、あるいは安全上の問題が起こった場合にすぐに非常停止できるように運転盤から離れないでください。



物を放置しない

パレット内には、車以外のもの（鞆、その他の荷物）を放置しないでください。また、歩行デッキにも荷物を置かないでください。

- 車以外のものをパレット内に放置したまま駐車設備を運転しますと、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



電源スイッチ

運転中は、運転盤下部についている「制御電源スイッチ」の「入」-「切」操作はしないでください。

- 運転中に「制御電源スイッチ」の「入」-「切」操作を行いますと、駐車設備が急停止して、設備を破損し、事故につながります。

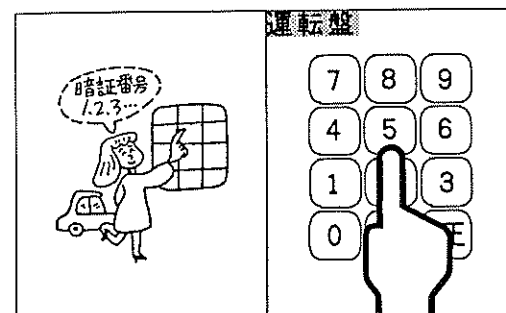
5 出庫するとき

この項では、車を出庫するときの、管理者の方やテナントの方の操作のしかた、およびドライバーの出庫時の注意事項についてご説明します。

出庫操作のしかた (管理者/テナント共通)

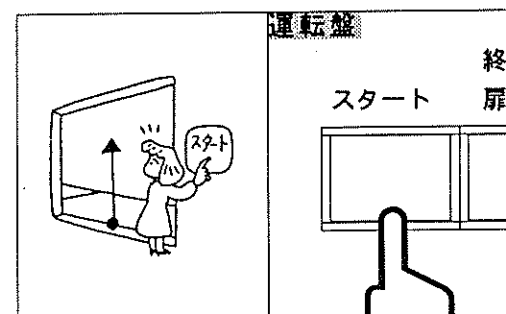
1 番号を入力する

運転盤の「テンキースイッチ」で、管理者による操作の場合は出庫するご利用者の「パレット番号」を、またテナントの方の操作の場合は「暗証ボタン」を押した後、ご自分の「暗証番号」を入力してください。



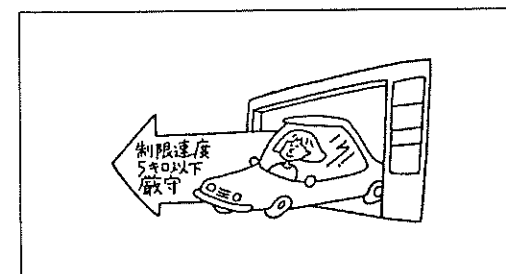
2 「スタート」を押す

次に「スタートボタン」を押してください。機械が運転を始めて、呼出したパレットが出入口に到着し、自動的にドアが開きます。



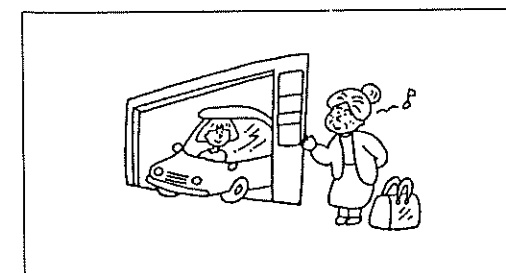
3 出庫させる

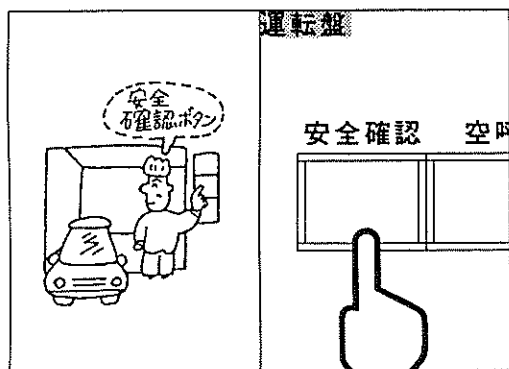
パレットが完全に停止してから、ドライバーが駐車室内に入り、ゆっくり（制限速度5キロ以下厳守）車を出してください。



4 パートナーは入口の前で

出庫のとき、駐車室内に入り、車を出すのは、ドライバーだけにし、同乗の方や荷物は出入口の前で待機しててください。

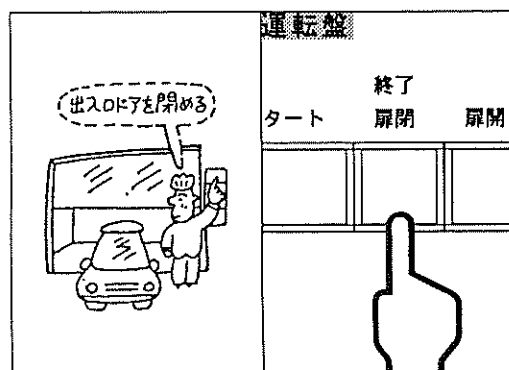




5 安全確認ボタンを押す



駐車室内に人がいないことを確認した後に、運転盤の「安全確認ボタン」を押してください。運転ロックが解除されます。



6 ドアを閉める



テナント（会員）操作の場合

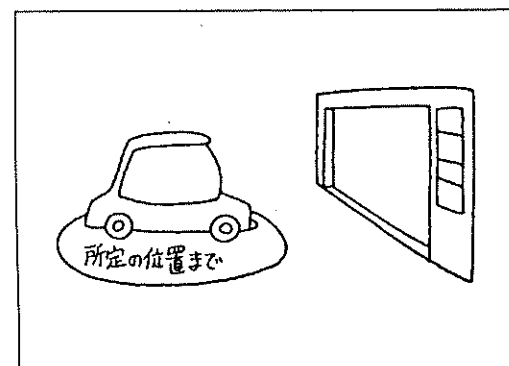
出庫が終わったら、運転盤の「終了／扉閉ボタン」を押して、出入口ドアを必ず閉めてください。これを怠ると、思わぬトラブルの原因になります。

●ドアが開いていて、空きパレットにそのまま他のテナントの方が入庫した場合、出庫のとき暗証番号で自分の車が呼出せなくなります。

ターンテーブルの操作のしかた

1 車をのせる

ドライバーは、入庫する車または出庫した車をターンテーブルの所定の位置に載せます。

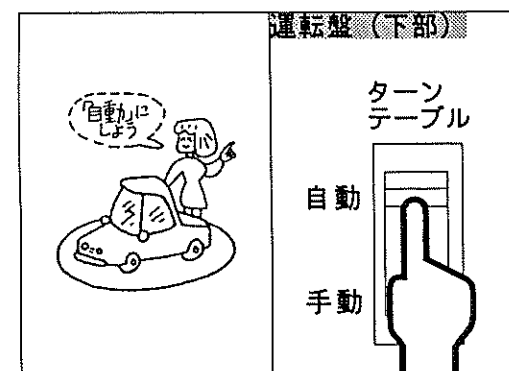


2 運転モードを選択する

運転盤下部の「運転モード切換スイッチ」で、「自動」または「手動」を選択します。

「自動」 設定された角度だけ回転して自動停止します。

「手動」 任意の位置まで回転して停止させられます。

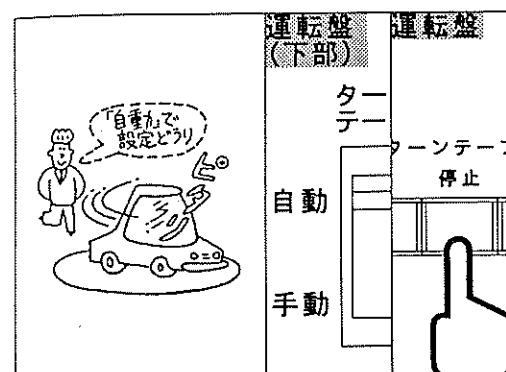


3 回転させ、止める

自動運転の場合

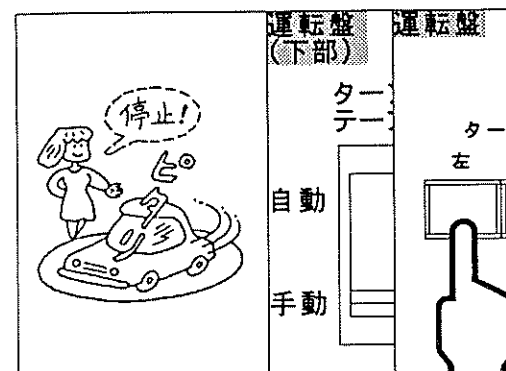
自動の場合は、「左」または「右」のボタンを押すと、左または右に回転を始め、設定された角度まで回転すると、自動的に停止します。

また回転の途中でも、「停止」のボタンを押せば、すぐ停止します。



手動運転の場合

手動の場合は、「左」または「右」のボタンを押し続けている間だけ、その方向に回転し、指を離すとその位置に停止します。



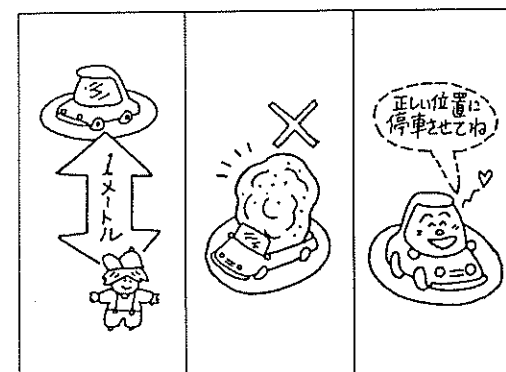
4 回転のときの注意



●ターンテーブルを回転させるときは、他の人を周囲1m以上のところに離しておいてください。

●制限重量を超える車は、載せないでください。（「11 設備の仕様」参照）

●車がターンテーブルの正規の位置に停車したことを確認してから、回転を始めてください。



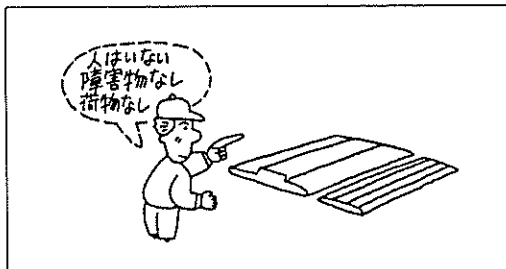
6 運転を終了するとき (終業点検)

この項では、毎日の運転が終了した後に、管理者の方にしていただきたいこと (終業点検) をご説明します。

1 駐車室内の点検



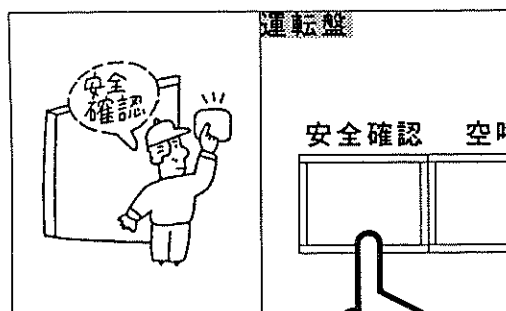
駐車室内に人がいないか、またパレットや歩行デッキの上に荷物や障害物がないかどうかを確認してください。



2 安全確認ボタンを押す

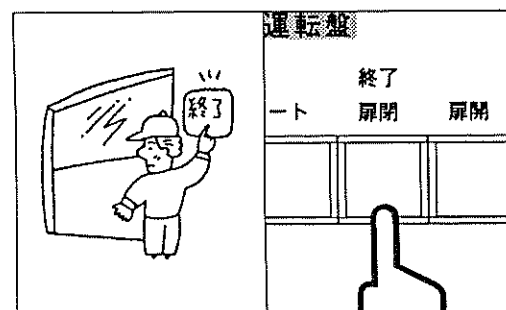


室内の確認が済んだら、運転盤の「安全確認ボタン」を押してください。



3 ドアを閉める

運転盤の「終了/扉閉ボタン」を押して、駐車室のドアを閉めてください。



4 電源スイッチを切る

運転盤下部の「制御電源スイッチ」を「切」にしてください。



7 事故や災害のとき

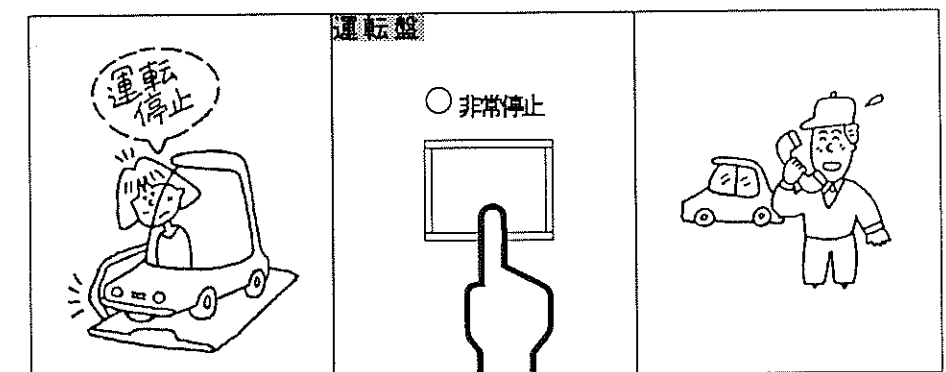


事故が起きたとき

物損事故の場合

バックミラーをぶつけて破損した、ドア保護柵や前面鏡に接触したなどの物損事故が発生したら、直ちに設備の運転を停止して、必ず事故の状態を SMEC の最寄りの営業所にご連絡し、指示に従ってください。

●もしそのまま運転を続けたり、連絡なしに運転を再開されますと、重大な事故につながる恐れがあります。

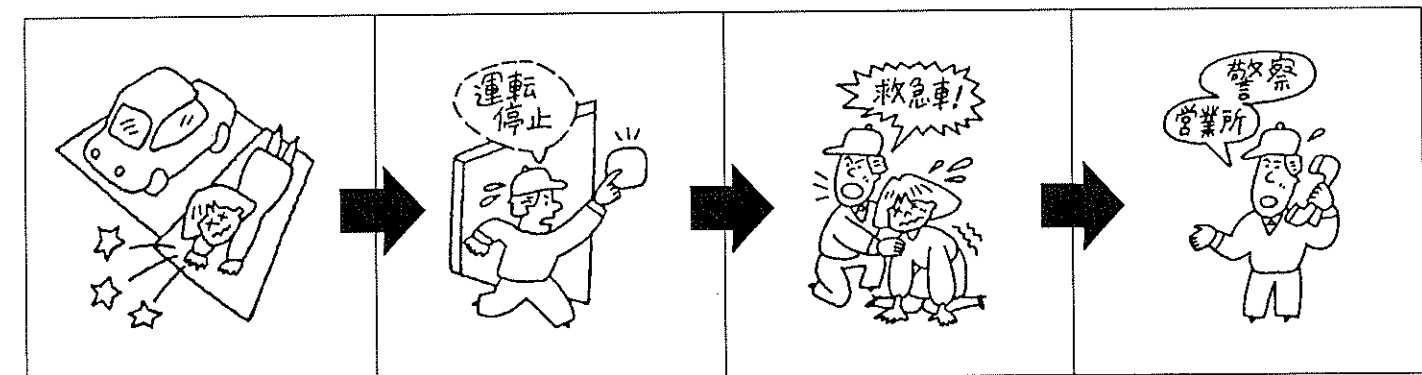


人身事故の場合

直ちに運転を停止して、まず、負傷者の救護措置をしてください。(必要に応じて救急車を呼んでください)

●必ず SMEC の最寄りの営業所に事故の状況を連絡してください。

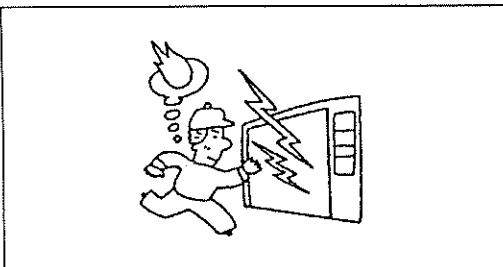
●救急車を呼ばない場合でも、警察署には報告してください。



火災が発生したとき

1 警報が鳴ったら確認する

火災警報が鳴ったら、管理者の方はすぐ火災の発生場所と状況を確認してください。

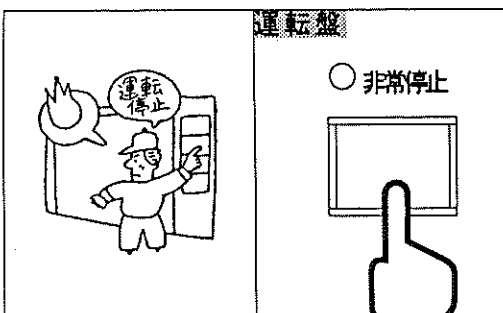


2 「非常停止ボタン」を押して運転を停止し避難させる

火災発生を確認したら、直ちに設備の運転を停止させ、もし駐車室内に人がいればすぐ避難させてください。

消火作業が始まる前に駐車室のドアは自動的に閉じます。

●駐車室のドアが閉じたことを必ず確認した後、消火作業に移ってください。



3 消火する

下記の要領で行ってください。

- 1 自動/手動切換タイプの場合は、操作箱の「手動ボタン」を押してください。
(手動専用タイプでは不要です)
- 2 操作箱下部の警報扉を開いてください。音声で退避警報が始まります。
- 3 赤いボタン(起動ボタン)を押してください。
アクリルカバーを強く押し破ってボタンを押してください。
約20秒後に二酸化炭素ガスが放出されます。

●二酸化炭素ガス放出後の駐車室内のガス濃度は約30%となり、短時間で人を窒息させる危険があります。このため、本消火設備を操作させる前には駐車室内の人員が退避完了していることを必ず確認してから、「起動ボタン」を押すようにしてください。

緊急停止方法

万一、誤って「起動ボタン」を押してしまった場合、ガスが放出される前であれば「起動停止ボタン」を押してください。ガスの放出を停止できます。

自動の場合

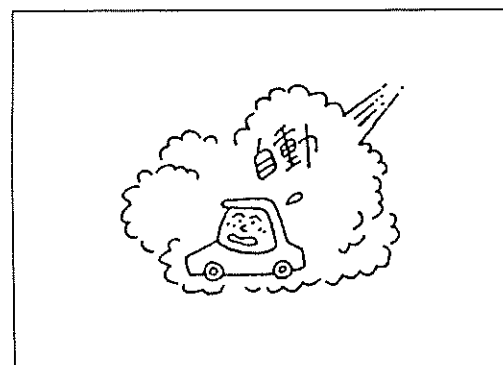
夜間など無人になるときに、自動/手動切換タイプの場合、「自動」に切換えておきますと自動的に消火装置が作動して、消火作業を行います。

(手動専用タイプでは作動できません)

●詳しい操作方法は「消火設備説明書」をお調べください。

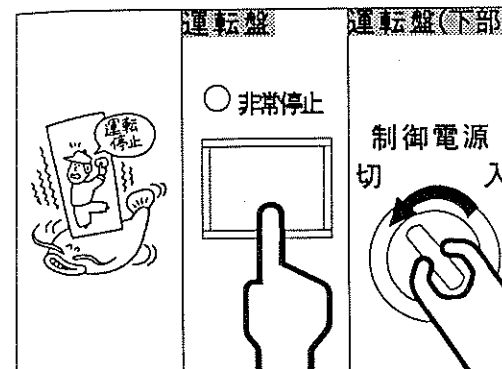
4 連絡する

消防署とSMECの最寄りの営業所へ必ずご連絡してください。



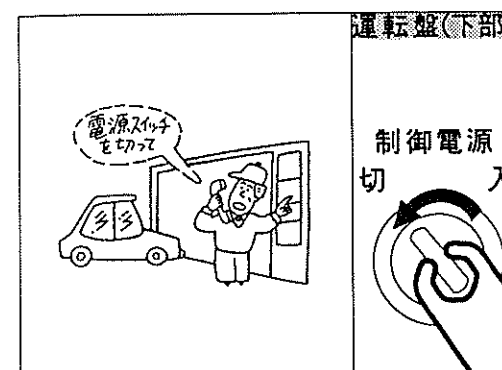
地震が起きたとき

- 1 直ちに運転を停止し、人を避難させてください。
 - 2 電源スイッチも切ってください。
 - 3 地震後は必ず始業点検をしてから、運転を再開してください。
- 震度4(歩いていて感じる、花瓶が倒れる程度)以上の場合は、SMECの最寄りの営業所にご連絡して点検を受けてください。



停電したとき

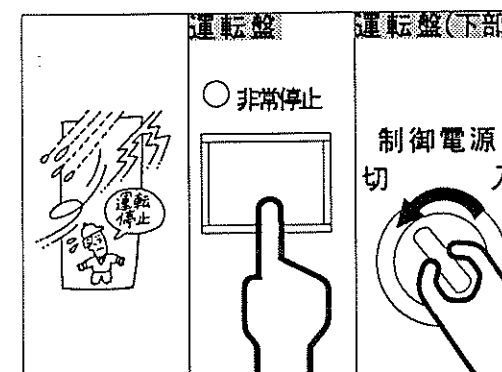
- 1 電源スイッチを切ってください。
- 2 ターンテーブルの上にいる車は、所定の操作により手回しできますから、SMECの最寄りの営業所にお問合わせください。



その他の災害のとき

台風、集中豪雨、落雷、地域により異常寒波などの場合は、次の処置をお願いいたします。

- 1 運転を停止し、人を避難させてください。
- 2 電源スイッチも切ってください。
- 3 運転を再開する前に、必ず始業点検をし、不審な点があればSMECの最寄りの営業所にご連絡ください。



8 故障のとき

動かないとき

設備が動作しないときは、次の手順でチェックしてください。

1 電源スイッチは入っていますか？

入っている

切っている

始業点検の後スイッチを「入」にしてください。

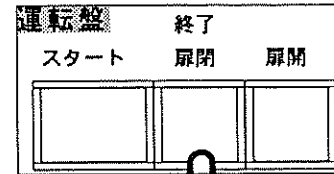


2 入口ドアは開いていませんか？

閉じている

開いている

無人確認後ドアを閉めてください。

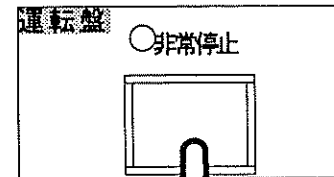


3 非常停止ボタンが押されていませんか？

押していない

押してある

安全確認後ボタンをもう一度押してください。

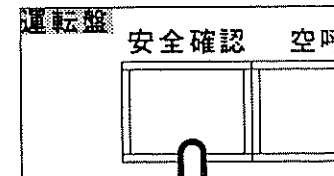


4 車両制限を越えていませんか？

オーバーしていない

オーバーしている

制限を越える車は入庫できません。



5 安全確認ボタンを押しましたか？

押した

まだ押していない

ボタンを押してドアを閉めてください。

6 非常扉が開いていませんか？

閉じている

開いている

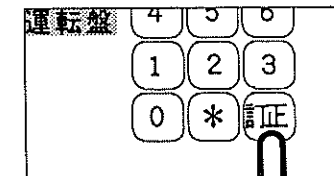
無人確認後ドアを閉めてください。

7 呼出番号を間違えていませんか？

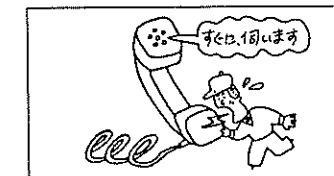
正しい

間違っていた

正しい番号を入れ直してください。



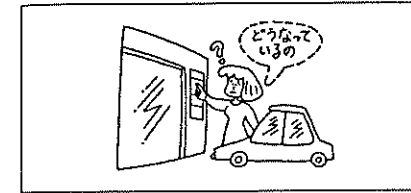
それでも動かないときは、SMECの最寄りの営業所にお電話ください。



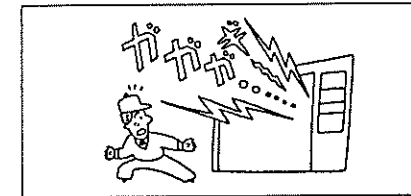
その他の異常のとき



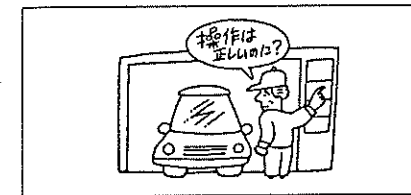
1 前ページのフローの操作を正しく行っても動かない場合



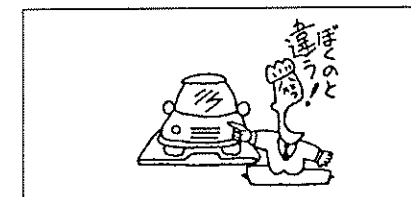
2 運転中に異常な音がする場合



3 正しい操作をしたにもかかわらずパレットの呼出しができない場合

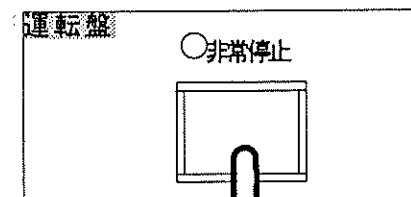


4 呼出したパレットと異なるパレットが出入口に到着した場合

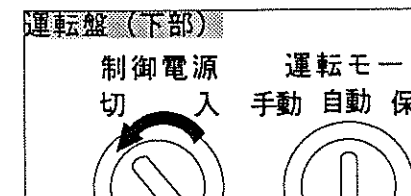


上記の場合は

1 以外の場合、すぐ運転を停止して、駐車室から人を避難させてください。



電源スイッチも切ってください。



SMECの最寄りの営業所にご連絡して、係員の点検を受けてください。



9 テナント契約を結ぶとき

この項では、オーナーの方または管理者の方が、テナントと駐車場利用契約を締結するときの注意事項について、ご説明します。

車検証を確認する

利用契約を結ぶ車の車検証を見せてもらい、記載されている車種名、様式などにより、車の外形寸法および重量を確認します。

飛出パーツの確認をする

最低地上高の低い車、後にマフラーが突出した車など、入出庫できない車について、外観チェックをしてください。

設備運転方法を説明する

この「取扱説明書」により、設備の運転方法をよく説明してください。

実技指導をする

説明書で説明するだけでなく、管理者の方が講師となって、実際に現場で設備を動かしながら指導してください。そのあと、必ずテナントの方にも自分で運転操作をしていただいて、正しい運転ができる人だけを登録してください（このことは法令で義務付けられています）。

テナント名を登録する

実技テストに合格したテナントの方のみを、会員として名簿に登録してください。

許可証を発行する

テナントとして登録されたことをあらわす、許可証、会員証などを発行してください。形式は問いませんが、カード化するのもいい方法です。

車を買替えたとき

テナント（会員）の方が車両買替えをされた場合は、そのまま登録を継続せず、改めて制限寸法や重量の点検、外観チェックなどを実施してください。ただし、取扱説明と実技テストは不要です。

10 保守契約



本立体駐車設備は、専門技術者による「保守および定期点検」が必要な設備です。納入後3ヶ月は、弊社にて無償保守サービスを致しますが、その後は有償保守サービスとなりますので、駐車場専門保守会社と保守契約を締結ください。

保守契約のご相談は、新明和エンジニアリング株式会社の最寄りの営業所へご連絡ください。

1 1 設備の仕様

形式	SY2J-52E	
基数	1基	
収容車台数	中型車 52台	
入庫車諸元	車長	5000 mm以下
	車幅	1800 mm以下
	ミラー幅	2000 mm以下
	最低地上高	130 mm以上
	タイヤ外寸	1760 mm以下
	車高	1550 mm以下
	重量	1700 kg以下
出入口	幅	2500 mm
	高さ	1850 mm
	扉方式	3UPドア
操作方式	テンキー（暗証番号方式） （フリーロケーション）	
電動機	搬出	7.5 kW
	横行	3.7 kW
	縦送り	2.2 kW
	旋回	-
移動速度	搬出	20 m/min
	横行	35 m/min
	縦送り	80 m/min
	旋回	-
制動方式	無励磁時作動電磁ブレーキ	
ターミネーブル	形式	ST-60H
	直径	6000 mm
	積載量	8000 kg
	回転数	1.1 rpm
	電動機	1.5 kW
電源	200~220 V 50/60 Hz	
消火装置	二酸化炭素 (CO ₂)	

1 2 本駐車設備の特殊仕様

パレットの呼出し予約のしかた

本物件はパレット呼出し中、3つのパレットの呼出し予約が可能です。通常のパレット呼出し操作をパレット呼出し中に行えば予約されます。予約された数は、運転盤の予約ランプに表示されます。（運転モードが専任の場合、運転盤の確認ボタンを押すと予約されている呼出しパレット番号を呼番号表示部に表示します。）

パレットの呼出し予約を取消するとき

例) 3つのパレット呼出し予約がある場合、運転盤の予約ランプ1, 2, 3が点灯しています。この時2番目の予約を取消するには、まず確認ボタンを2回押します。次に予約ランプ2が点滅していることを確認した上で、解消ボタンを押すと、2番目の予約が取消されます。（2番目の予約が取消されたことにより、3番目の予約が2番目の予約になるので予約ランプの1, 2が点灯となります。）